

電子くじについて

同価の入札をした者が2人以上あるときは、電子くじにより落札（候補）者を決定します。また、事後審査型制限付き一般競争の場合は、審査順位を決定します。

- ① 入札参加者は、入札時に「くじ番号（3桁）」を入力します。
- ② くじ番号と入札書提出日時の秒（ミリ秒単位の下3桁を使用）の和を「確定番号」とします。「確定番号」が4桁になる場合は、下3桁を使用します。
- ③ 電子くじ対象者を入札書提出時間順に、「入札順位」を0から振ります。

【数式】電子くじ対象者の「確定番号」の和÷ 対象者数

上記の数式で得られた余りと、入札順位の数値が一致した入札者が落札（候補）者となります。

審査順位は、残りの同価の入札をした者（順位1位を除き）で上記方法により落札候補者2位を決定します。それを繰り返し審査順位が決定します。

電子くじの計算例

※電子くじ対象者が3社の場合の計算例

電子くじ対象者	A建設	B建設	C建設
①くじ番号（入札時に入力）	261	602	077
②入札書提出日時	1月22日13時16分35秒642	1月22日14時26分35秒012	1月22日16時54分10秒962
③入札書提出日時のミリ秒	642	012	962
④確定番号(①+③)下3桁	903 (=261+642)	614 (=602+012)	039 (=077+962)
⑤入札書提出順位（②の早い者順）	0	1	2
⑥④の合算	903 + 614 + 039 = 1556		
⑦④の合算÷電子くじ対象者	1556 ÷ 3 = 518 余り2		
落札（候補）者	C建設		

※2番目の業者は落札（候補）者を除いたA建設[0]とB建設[1]の④合算[1517]から、電子くじ対象者数[2]を割った余り[1]でB建設[1]となります。3番目はA建設となります。